

報道関係者各位

2020年10月23日発行

超高速3次元CADの最新版 TopSolid'Design 7.14Jを10月26日に発売

国内4,500社にCAD/CAM/CAEシステムを提供しているコダマコーポレーション株式会社(本社:神奈川県横浜市、代表取締役社長:小玉博幸)は10月26日(月)、超高速3次元CADシステムの最新版である「TopSolid'Design 7.14J」(トップソリッドデザイン)を発売致します。

TopSolid'DesignはフランスのCAD/CAMベンダーであるTOPSOLID社が開発した3次元CADシステムです。従来の3次元CADでは処理できなかった数万点の部品から構成されるアセンブリの設計でも超高速に処理でき、快適なレスポンスを維持できる特徴があります。コダマコーポレーションは、TOPSOLID社の国内総販売元として開発、販売、サポートを行っています。

今回の最新版では、80項目に上る新機能が搭載され、ユーザーの設計効率のさらなる向上を実現する強力なシステムとなっています。

今回発売する最新版「TopSolid'Design 7.14J」の新機能の内、3つを以下にご紹介します。

サーフェスの不正を自動で修正するかの設定を一括で行う新機能

TopSolid'Designは、デザイナーがイメージした曲面(サーフェス)をデザインするための豊富な機能を有しています。その中の1つに他のCADから読み込んだサーフェスの不正を修正する機能があります。従来は、不正を自動で修正するかしないかを1つ1つのファイルに設定する必要がありました。

今回の最新版では、この設定をすべてのファイルに一括して行えるようになり、個別に設定しなくてもよくなりました。

プロジェクトの開始時に関連するファイルを自動作成する新機能

TopSolid'Designは、JISにも対応した2次元CAD機能を有しているほか、金型設計や部品加工などのアプリケーションを取り揃えており、さらにこれらは統合され、データ変換が不要です。

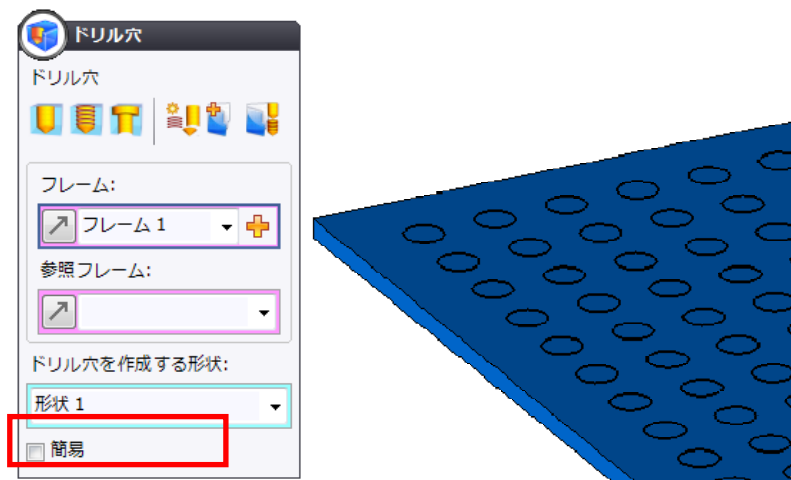
今回の最新版では、プロジェクトを新しく開始するときに、展開図、組立図、部品図、部品表、CAMなどのファイルを自動で作成する機能が搭載されました。従来、ファイルを1つずつ作成する必要がありましたが、その手順が不要になりました。

ドリル穴の3次元形状を作成せずに属性だけを定義する新機能

TopSolid'Designは、部品加工用のCAMと連携することでNCデータの作成の標準化を実現し、設計から製造までの生産性を向上できます。TopSolid'Designでは、ボルトなどの部品を配置すれば、必要な穴が自動で作成され、CAMでは穴の種類や精度などの属性を認識し、最適な工具と加工条件でツールパスを自動で作成します。

今回の最新版では、穴の側面と底面の3次元形状を作成せずに、穴の輪郭となる円と属性だけを定義できる

ようになりました。これにより、900個のドリル穴を作成するのに必要な処理時間を90秒から3秒に短縮できます。



対応しているOS Windows 10 Pro、Pro for Workstation、Pro for Workstation Plus、
Enterprise、Education (64bit)
Windows 8、8.1 Pro、Enterprise (64bit)
Windows 7 Professional、Enterprise、Ultimate SP1以上 (64bit)

価格 990,000円(税別)～
年間のメンテナンス料金を含まない、ソフトウェアライセンス使用权のみの標準価格です。

お問い合わせ窓口

コダマコーポレーション株式会社 事業推進室 中條 貴之

TEL 045-949-1331 FAX 045-949-1515 E-mail bizinfo@kodamacorp.co.jp

URL <http://www.kodamacorp.co.jp/>

- * このプレスリリースに記載された会社名、商品名は、各社の商標、または登録商標です。
- * このプレスリリースに記載された情報は、発表日現在の情報であり、時間の経過または様々な後発事象によって変更される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。